

希望 愛 信仰

存 ぞ の 者 は 三

山形学院だより

第5号

2021. 11. 9

副校長・佐藤圭一



山形学院高等学校

‘クラスマッチ球技大会’を実施しました

10月12日(火)～13日(水)に山形市総合スポーツセンターにおいて、「クラスマッチ球技大会」が行われました。今年度もコロナ感染予防対策のため、12日午前の部(1・2学年)、午後の部(3学年)と13日午前の部(3学年)、午後の部(1・2学年)と学年で別れ、12日は男・女バレーボール、13日は男女混合バドミントンと男・女ドッジボールを行いました。クラスTシャツ(今年はビブスが人気?)を着て、担任の先生の応援も加わり熱戦となりました。昨年は実施できなかったドッジボールも復活し、熱い戦いが繰り広げられました。各学年1～2位のみ紹介します。

男女混合バドミントン

1位 3年7組 2位 3年6組
1位 2年7組 2位 2年6組
1位 1年6組 2位 1年1・2組



男・女バレーボール

1位(男)3年7組/(女)3年4組 2位(男)3年3組/(女)3年9組
1位(男)2年1・2組/(女)2年4組 2位(男)2年3組/(女)2年3組
1位(男)1年5組/(女)1年6組 2位(男)1年6組/(女)1年5組

男・女ドッジボール

1位(男)3年4組/(女)3年6組 2位(男)3年6組/(女)3年10組
1位(男)2年1・2組/(女)2年1・2組 2位(男)2年3組/(女)2年10組
1位(男)1年4組/(女)1年5組 2位(男)1年6組/(女)1年7組



1学年「バレーボール」



2学年「ドッジボール」



3学年「バドミントン」

〈学院のひとコマ①〉

放送部が東北大会出場決める!

11月2日(火)に県高校放送コンテスト新人大大会が遊学館で行われ、放送部6名は「テレビキャンペーン部門」に「友喰い」でエントリーし、第3位に入賞しました。“相手のことを考えられなかったり自分の主張ができなかったりすることで、友人関係が壊れてしまうことがある”高校生によくある日常の出来事を通し“友人関係について”もう一度考えてみてほしいとのメッセージが込められています。東北大会は2月に今年もデータ審査形式で行われます。

演劇部が県高校演劇合同発表会で優良賞!

10月29日(金)～31日(日)に新庄市民文化会館で県高校演劇合同発表会が行われ「段ボールの上でプリントを書くと穴が空く」を演じ「優良賞」を受賞しました。“学校に行けない生徒が段ボールを机に公園で勉強して将来フリースクールを立ち上げようとするコメディ劇”でした。



県高校新人大会・地区高校新人大会 (入賞・結果)

・県高校駅伝 [10/23]

◇ 陸上部 (女子) ⇒ 第9位

県高校新人大会

女子卓球部が準優勝 !!

・県新人大会 [10/9~10、11/3、11/6~7]

◇ 女子卓球部 ⇒ 学校対抗 第2位 **東北大会出場** (1/29~2/1「仙台市」)
個人シングルス ベスト8 高橋(2-2)、宮地(2-3)

◇ 女子バドミントン部 ⇒ 学校対抗 ベスト8
個人ダブルス ベスト8 高橋(2-7)・佐藤(2-4)

◇ 男子卓球部 ⇒ 個人シングルス 3回戦敗退

◇ ソフトボール部、サッカー部、男子バドミントン部 ⇒ 1回戦敗退



・地区新人大会 [11/6~7]

◇ 女子バスケットボール部 ⇒ 第3位

◇ 男子バスケットボール部、女子バレーボール部、男子バレーボール部 ⇒ 県大会出場

第45回 県高校総合文化祭・村山大会

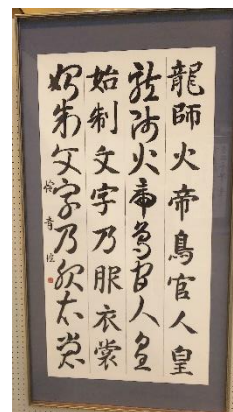
<弁論部門> 真木こころさん(2年)が「高文連賞」を受賞! 全国大会へ



「努力賞」 作:伊藤 空

県高校総合文化祭・村山大会が10月8日(金)~10日(日)に「山形テルサ」を主会場に行われました。昨年同様、新型コロナウイルス対策を行い、日頃研鑽を積んでいる文化活動の優れた成果を発表しました。テーマは『霞城の柱に 文化の息吹颯爽と』本校からは華道部・書道部・美術部、そして弁論部門へ出場しました。開会式後に行われた弁論の部で、真木こころさん(2-2)が、演題「言葉のデジタル化」を一度も下を見ることなく、まっすぐに前を見て聴衆に語りかけ発表しました。結果は見事に「高文連賞」を受賞し、

来年8月開催の全国高文祭への出場が決まりました。美術部は4人が5作品を出品し、伊藤 空さん(2-10)の作品「君も私も世界にたった一人しかいない絶滅危惧種」が努力賞を頂きました。書道部は3人が草書と行書を出品しました。華道部の3名は「文翔館ギャラリー」に小作品を活けました。花材は(左)オクロレウカ・ケイトウ・レモンリーフ/(中)ファイヤーバード・われも紅・笹リンドウ/(右)花ナス・ゴッド・笹リンドウ・トルコキキョウです。[写真→右]



作:若月 怜音(2-4)



<学院のひとつコマ②> 健康運動指導士による “コアコンディショニング”

~ 1回30分間の指導時間で年5回実施 ~



体育館2F「小競技場」

本校の保健支援室(保健室)では、4月に実施しました身体測定「四肢の状態の検査」で、できなかった項目があった生徒に対して、健康運動指導士の伊藤 貢先生(山形済生病院)をお招きし、動作の基本となる姿勢や動きについての指導(コアコンディショニング)を実施しています。コアコンディショニングをすることにより、体のバランスが整い、良い姿勢が身につく、良い動きができるようになり、日常生活を安全に送ることができると言われていました。本人の動作や姿勢の保ち方に関する意識を高めていくことを目的としています。実施後“体のバランスが良くなった”との感想が寄せられました。